

平成28年度 決算報告書

国立大学法人 滋賀医科大学

(単位:百万円)

| 区 分 | 予算額 | 決算額 | 差 額 (決算－予算) | 備 考 |
|---------------------|--------|--------|----------------|-------|
| 収入 | | | | |
| 運営費交付金 | 5,534 | 5,478 | △56 | (注1) |
| 施設整備費補助金 | 26 | 64 | 38 | (注2) |
| 補助金等収入 | 198 | 285 | 87 | (注3) |
| 大学改革支援・学位授与機構施設費交付金 | 32 | 21 | △11 | (注4) |
| 自己収入 | 21,555 | 22,499 | 944 | |
| 授業料、入学料及び検定料収入 | 653 | 640 | △13 | (注5) |
| 附属病院収入 | 20,808 | 21,628 | 820 | (注6) |
| 雑収入 | 94 | 231 | 137 | (注7) |
| 産学連携等研究収入及び寄附金収入等 | 1,232 | 1,184 | △48 | (注8) |
| 引当金取崩 | 358 | 372 | 14 | (注9) |
| 長期借入金収入 | 528 | 568 | 40 | (注10) |
| 目的積立金取崩 | - | 119 | 119 | (注11) |
| 計 | 29,463 | 30,590 | 1,127 | |
| 支出 | | | | |
| 業務費 | 25,898 | 25,995 | 97 | (注12) |
| 教育研究経費 | 4,143 | 4,564 | 421 | |
| 診療経費 | 21,755 | 21,431 | △324 | |
| 施設整備費 | 586 | 646 | 60 | (注13) |
| 補助金等 | 198 | 278 | 80 | (注14) |
| 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等 | 1,232 | 1,066 | △166 | (注15) |
| 長期借入金償還金 | 1,549 | 1,541 | △8 | |
| 計 | 29,463 | 29,526 | 63 | |
| 収入－支出 | - | 1,064 | 1,064 | (注16) |

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、予算段階で使用を見込んでいた承継職員に係る退職手当について、見込に対して退職者が少なかったため、予算金額に比して決算金額が56百万円少額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、予算段階で予定していなかった総合研究棟改修 I (臨床系) の交付を受けたこと及びその一部を翌年度へ繰り越したこと等により、予算金額に比して決算金額が38百万円多額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、予算段階で予定していなかった教育研究基盤装置・設備等の交付を受けたため、予算金額に比して決算金額が87百万円多額となっています。
- (注4) 大学改革支援・学位授与機構施設費交付金については、見込に対して交付額が少額であったため、予算金額に比して決算金額が11百万円少額となっています。
- (注5) 授業料、入学料及び検定料収入については、免除者が当初の見込みを上回ったこと等により、予算金額に比して決算金額が13百万円少額となっています。
- (注6) 附属病院収入については、病床稼働率の上昇、診療単価の増等により、予算金額に比して決算金額が820百万円多額となっています。
- (注7) 雑収入については、科学研究費補助金間接経費収入(68百万円)、コンビニエンスストア等からの販売手数料(40百万円)等により、予算金額に比して決算金額が137百万円多額となっています。
- (注8) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、産学連携等研究収入の減収及び寄附金収入の増収により、予算金額に比して決算金額が48百万円少額となっています。
- (注9) 引当金取崩については、賞与手当引当金の増加等により、予算金額に比して決算金額が14百万円多額となっています。
- (注10) 長期借入金収入については、予算段階で予定していなかった基幹・環境整備(空気調和設備更新等)の交付を受けたこと及びその一部を翌年度へ繰り越したこと等により、予算金額に比して決算金額が40百万円多額となっています。
- (注11) 目的積立金取崩については、予算段階で予定していなかった前中期目標期間繰越積立金取崩により、予算金額に比して決算金額が119百万円多額となっています。
- (注12) 業務費については、附属病院において共同購入等によるコストダウンを図った一方、地域手当の増等に伴う人件費の増や教育研究設備の更新等を拡大したため、予算金額に比して決算金額が97百万円多額となっています。
- (注13) 施設整備費については、(注2)及び(注10)に示した理由による増及びその一部を翌年度へ繰り越したため、予算金額に比して決算金額が60百万円多額となっています。
- (注14) 補助金等については、(注3)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が80百万円多額となっています。
- (注15) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、翌年度への繰越額が増加したこと等により、予算金額に比して決算金額が166百万円少額となっています。
- (注16) 収入－支出は、翌年度以降に用途の特定された賞与引当金等409百万円、業務達成基準により翌年度以降に用途の特定された運営費交付金債務363百万円、産学連携等研究経費及び寄附金事業費等の執行残額118百万円等を含んでいます。